

（仮称）君津市立貞元保育園基本構想（素案）

【概要版】

1 基本構想の背景と目的

本市の公立保育園の多くの園舎は老朽化が進んでおり、子どもたちにとって安全で安心な保育環境を確保するために建替え等の対応が急務となっています。

また、現在でも保育士不足などから待機児童が発生しています。

このため、老朽化した公立保育園の再整備を図ると同時に、君津市全体の保育及び子育て支援の量の確保と質の向上を図っていくことが求められています。

本基本構想は、本市における保育環境の現状と課題を把握し、基幹保育園となる（仮称）貞元保育園の整備方針を策定するものです。

2 保育環境の課題

●公立保育園の老朽化への対応と計画的な再整備・維持管理の実施

昭和40年代に建設されて築50年経過した園舎の多くは著しく老朽化が進行しており、大規模地震や大型台風などの自然災害に備え、建替えなど抜本的な対応が必要です。再整備にあたっては、実現したい建物像、導入機能、構造種別、コスト等のバランスを見極めるとともに、中・長期的な視点に立ち、建物を健全に維持していくための方策を確立する必要があります。

●待機児童の解消

君津地区では3歳未満児を中心に待機児童が発生しています。今後は、保育士の働きやすい環境整備や保育士確保に向けた取り組みを進めるなど、施設整備と保育士確保の両面から待機児童対策に取り組む必要があります。

●保育の質の維持・向上

民間保育施設と連携・協力してより質の高い教育・保育を提供していくとともに、保育士確保に向けてICT化等による業務の効率化や労働環境の改善と研修機会の充実などによる保育士の能力向上に努め、やりがいのある保育を実践できる環境づくりに取り組む必要があります。

●保育のセーフティーネットの体制づくり

障害や疾病等による医療的ケアを必要とする児童の受け入れや近年増加傾向にある発達において何らかの心配がある児童の対応方法等のノウハウを市内の保育施設で共有し、広めることで保護者の就労を支援するとともに、現在本市で実施していない休日保育などの多様なニーズにも対応できる体制を整える必要があります。

●子育て家庭への支援の充実

地域とのつながりを大切にし、地域住民と子どもが交流できる場や未就園児がのびのびと遊べる場、気軽に子育て相談ができる場の創出を図るなど、子育てを家庭を支え、安心して子育てしやすい環境づくりを進める必要があります。

●持続可能な社会の実現に貢献する取り組み

子どもたちの未来を守るため、持続可能な社会の実現に貢献する環境整備や運営を目指し、公立保育園の再整備においては環境負荷低減を考慮した施設整備や自然との共生を取り入れた環境教育を実践する試み、世代間交流や子育て世代の移住・定住に向けた取り組みを行い、地域の持続的発展に向けた方策を確立し、推進していく必要があります。

3 （仮称）貞元保育園の役割

本市における保育環境の様々な課題の解決に向けて、全学的・包括的な視点に立ち、（仮称）貞元保育園の担うべき役割を明らかにします。

老朽化した公立保育園の再整備を推進する

老朽化が進んでいる久保保育園、上湯江保育園、常代保育園に代わって、大規模災害にも耐えられる建物を整備するとともに、予防保全や計画的維持管理などにより、施策の長寿命化に努めた整備に取り組みます。

待機児童を解消する

公立保育園全体での保育士の効率的な再配置を行うとともに、新たな保育人材の確保や育成に努め、保育士不足による待機児童の解消を図ります。また、ICT化を推進するなど労働環境を改善し、保育しやすい環境づくりに取り組みます。

保育の質の向上に寄与する

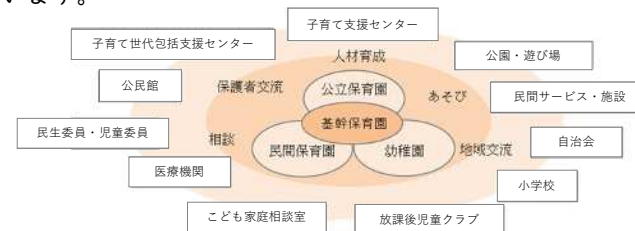
（仮称）貞元保育園を拠点とし、保育研修などを通じた市内保育施設との連携強化や先導的保育プログラム実習による保育士のスキルアップ、保育人材の育成、ICT導入による業務の効率化など、保育の質・専門性の向上に向けた取り組みを行い、その成果を市内保育施設間で共有し、市全体での保育の質の向上に努めます。

保育のセーフティーネット機能を強化する

医療的ケアや、発達支援など配慮が必要な児童、障害児、要保護児童への対応を強化するとともに、緊急保育、災害時の早期開園施設、代替保育や休日保育など保育のセーフティーネット機能の強化に向けた取り組みを推進します。

地域子育て支援機能を強化する

様々な機関との連携が図りやすい公立の基幹保育園の強みを活かし、施設内に新たに地域子育て支援機能の場を創出することで、相談機能の強化や子育て交流機会の充実を図り、子育て世代をはじめとする誰もが利用しやすい地域子育て支援拠点の中核を担います。



持続可能な社会の実現に向けた取り組み

持続可能なまちや社会を形成するため、安心して子育てできる施設を目指します。地球環境に優しい環境整備の先導的役割を目指すとともに、子育てを通して地域とつながり、人材の発掘や育成を図る仕組みづくりに取り組みます。

4 基本理念及び基本方針

●基本理念

『自然とともに みんな笑顔で 生きる力を育む つながる子育て拠点』















私たちは生き方や価値観が多様化する時代に生きています。将来、子どもたちの就く仕事の多くは現在、存在すらしない新しいものになると言われています。将来の予測が難しい時代を前に、自ら考え、行動し、自らの人生を拓いていく人間になるには、0～6歳の人格形成期に、多くの原体験を通じて「生きる力」を養うことが重要です。

また、保育園は「昼間の家庭」と言われるように、みんなが安心できる生活の場です。子どもたちは、様々な人たちと出会い、豊かな自然や地域で受け継がれてきた文化に触れ、「感じること」を通して生きる世界そのものを学びます。

家のように安心できる居場所を拠り所に、自然の持つ奥深さや多様性が子どもの自発的な育ちを促し、保育士、保護者、地域の人とのつながりが地域を豊かに育んでいく、ともに育ちあう保育園になることを目指します。

●基本方針

関連するSDGs

・子ども一人ひとりが主役の保育園	  
・保護者に寄り添い、子どもの成長を喜び合える保育園	  
・保育者が輝く保育園	  
・地域にひらかれた保育園	
・自然と共生する保育園	  
・子育て世代が住みたいと思うまちづくりに貢献する保育園	

5 施設整備方針

●安全でゆとりと潤いのある施設

- ・安全安心で災害に強い施設をつくります。
- ・木質の仕上げ材や自然素材を用いて健康に配慮した施設をつくります。
- ・バリアフリー化に配慮した施設をつくります。

●子どもたちの主体的な育ちを支える施設

- ・自発的で創造的な活動を促す環境整備を図ります。
- ・自然体験が可能となる環境整備を図ります。
- ・生活文化に根差した生活体験が可能となる環境整備を図ります。

●保育士が働きやすい施設

- ・働きやすい職場環境や研修機能の充実など、質の高い保育が実践できる環境を整備します。
- ・機能的な動線や使いやすい収納、ICT導入などによる業務の効率化を図ります。

●家庭や地域との連携・協働を促す施設

- ・子育て支援活動の中核施設としての機能を併設します。
- ・保育・家庭・地域の連携が図りやすい場をつくります。

●持続可能な社会の実現に貢献する施設

- ・環境教育の実践や自然との共生を考慮した施設づくりを目指します。
- ・地域住民、高齢者との交流など地域とのつながりの場をつくります。
- ・先進的な建築設計によるエネルギー負荷の抑制等により一次エネルギー消費量を削減し、ZEB Ready以上を目指します。

●子育て世代が魅力を感じる保育・子育て環境

- ・市民参加型・つくるプロセスを共有できる施設づくりを目指します。
- ・地域に開かれた施設として、地域の縁側、地域のサロンなど地域の人が立ち寄りやすい場をつくります。
- ・発達支援や医療的ケアなどの新たな子育てニーズの増加にも対応できるよう、将来的な周辺土地利用など考慮した施設づくりを検討します。

6 安全対策および災害リスクの整理

- ◆水害対策 ⇒ 計画地は洪水浸水想定区域外であり、北側隣地（水田）は浸水区域に指定されているが、計画地内は隣地と2.2～2.8mの高低差があり、想定最大浸水レベルから1m程度高く、浸水の可能性は極めて低いです。
- ◆法面对策 ⇒ かけ地条例で採用される3m以下の高低差かつ30度以下の基準を基に安全性を検証、必要に応じて法面を補強します。
- ◆地震対策 ⇒ 構造体の耐震強度を1.25倍に割増し、高強度設計を行い、木造の場合は同等の強度とします。

- ◆防風対策 ⇒ 構造体だけでなく、屋根や外壁、ガラス等の仕上げ材や設備機器等を強固なものとします。
- ◆防犯対策 ⇒ セキュリティラインの設定、死角の少ない建築計画、機械警備、人的対応等多角的な対策が必要です。
- ◆接道の安全対策 ⇒ 歩行者の安全、避難動線の確保等の理由から前面道路の拡幅を検討します。
- ◆感染症対策 ⇒ 新型コロナウイルス感染症対策、0-157対策等環境整備と運営面で関係機関と連携強化を図る必要があります。